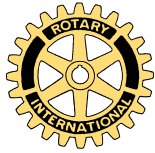


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2007～2008年度 国際ロータリー ウィルフリッドJ.ウィルキンソン会長テーマ

ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 橋本 恭典
幹事 鈴木 文三郎
会報委員長 酒部 正博

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2593回例会プログラム

[当年度=35回目；当月=3週目]

2008年（平成20年）5月19日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……それこそロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 次年度西三河分区ガバナー補佐挨拶
……辻村 和美 様

9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(5/26) ……クラブフォーラム
(環境保全委員会)

卓話「知ろう、始めよう。地球温暖化防止！」

講師 愛知県地球温暖化防止活動推進センター
事務局次長 北折 洋太郎 様
(紹介者 杉浦 芳一 会員)

(6/2) ……卓話
講師 日本ボーイスカウト愛知連盟
副連盟長 野村 正直様
(紹介者 岡本 巧 会員)

2. クラブフォーラム……………〈IT委員会〉

- 13:00 卓話「放送とIT」
講師 愛知国際放送株式会社
営業部長 倉地 雅彦 様
(紹介者 神野 公秀 会員)

14. 謝辞

15. 点鐘……〈会長〉

16. 閉会宣言

13:30 17. 散会

ビ ジ タ ー

| | |
|-----------------------------|---------|
| 東知多 RC | 加藤 知成 様 |
| 西尾 KIRARA RC (次年度ガバナー補佐) | 辻村 和美 様 |
| 西尾 KIRARA RC (次年度分区幹事) | 伊藤 則男 様 |

ゲ ス ト

| | |
|----------------------------|-------------------------------|
| NTT 西日本-東海 新入会員予定者 ” | 西村 佳奈 様 平子 祐介 様 渡部 雅之 様 |
|----------------------------|-------------------------------|

出 席

会員総数 93名 出席免除 20名
出席義務者+免除者の内例会出席者 83名
欠席 11名 出席率 86.75%
前々回(4/21)の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 5月16日(金)に刈谷市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会が開催され、加藤真治新世代委員長に出席して頂きました。

幹 事 報 告

- 1) 本日例会終了後、事務局にて第12回理事会を開催いたします。関係の方はよろしくお願ひいたします。

次年度西三河分区ガバナー補佐挨拶



辻村次年度ガバナー補佐

会長あいさつ

橋本 恭典



先週は、刈谷城と城下町刈谷についての卓話を村瀬学芸員さんからお伺いし、大変興味深く拝聴しました。話題に窮していたところでしたので、しからば私もと、よく釣りで通っている鳥羽にありまして、石垣だけが多少残っている鳥羽城と、天守閣を

築いた九鬼嘉隆について述べさせていただきます。

鳥羽城は、鳥羽水族館と道路を挟んで向かい側にある小高い山にありました。水族館はいつも黒山の人ばかりですが、鳥羽城へ行く観光客は1人もありません。と言いますのは、わずかな石垣以外は何も残っていないからです。

もともと尾鷲市九鬼浦出身の海賊であった九鬼一族が、志摩地方に勢力を伸ばし、灯台で有名な大王町波切に砦を構えたのは6代目の九鬼嘉隆でした。彼が信長の後押しもあって、志摩地方にひしめく海賊を平定して志摩地方全体を治め、文禄3（1594）年鳥羽湾に浮かぶ小島に海城を築き上げました。海岸に作られた城は海を背にして海側を防御に利用するのですが、鳥羽城については、3方が海に囲まれた20m位の高さの丘に築かれ、正門である大手門は海に向かって建てられていた大変珍しいお城です。さすがに海賊のお城だなと感じました。

現在は少しばかりの石垣とちょっとした看板しかありませんし、市役所、小学校、幼稚園、児童公園となっております。そこで古いものを探したり調べたりするのは、お寺かなと考え、地元の方にどこへ行けばよいかお尋ねしたところ、青峰山とのこと。正式には青峰山正福寺なのですが、山の名前で通っています。カーナビでセットすると鳥羽の水族館あたりから30分のドライブらしいので、ちょっと出かけました。ところがセットの方法が裏道だったらしく、山道に入ったら車がすれ違ふことが全く不可能になってきました。えい、ままと冷や汗もので30分、実際には10分程度進みましたら、ありました。駐車場もたくさんあり、びっくりするような立派なお寺が出現しました。西暦750年頃行基によって開山され、1804年現在のように再建され

ました。

「江戸藩に過ぎたるものあり正福寺 堅牢重厚稀にみるなり」と歌われ、大きくて堂々としてすばらしい彫刻の仁王門、立派な本堂、鐘楼堂など17棟の建物があって、この地方一番の巨刹だそうです。しばらく見学させて頂き、お庫裏さんらしき人に鳥羽城に関するものが何かありますかと尋ねたら、あるかもしれないけれど、調べたりしないと分からないとのこと。それでは、このお寺のことを教えて頂こうと目的変更しましたが、知らなかったことばかりでよく勉強になりました。

鳥羽は江戸時代、伊勢湾から江戸、大坂に出て行く船の風待ちの湊として栄えました。荒波の難所熊野灘と、砂浜が続いて風待ちの湊がない遠州灘が船乗りの恐れる難所であって、その中ほどにある鳥羽港は、特に重要な寄港地となって、江戸時代は大いに賑わっていました。標高336mの青峰山は海上からの目印となっており、昔は寺内の燈明石で毎夜護摩を焚いて海上安全を祈ったそうです。今でも海が荒れて闇夜で一寸先も見えなくなった時、ここから光が差して遭難船を導いたと言われております。海上保安の祈願所として志摩地方の船主、漁師、船員の参詣が絶えないそうで、毎年旧暦1月18日にはお船祭りが開かれ大いに賑やかになるそうです。

このお寺に奉納されている絵馬は立派なものが多く、ほとんど船の絵馬で豊漁や海運の安全を祈念するものばかりです。大きな吊り灯籠も奉納されており、尾州内海蛭子講舟中と読めました。これは知多半島の内海からの奉納です。鳥羽城のことは何も調べられませんでした。内海船のことが分かりました。次の機会には内海船のことをお話したいと存じます。

卓 話

「放送とIT (information technology)」

愛知国際放送株式会社 営業部長 倉地 雅彦 様



今日はお招き頂きありがとうございます。愛知国際放送は、2000年4月に開局したFMラジオ放送局で、愛称を「RADIO-i (レディオ・アイ)」と申します。

放送エリアは、愛知県、岐阜県、三重県および静岡県西部ですが、日本人のみならずこの地域の外国の方たちへも情報を提供できるように、広域放送免許を頂いています。

音楽という世界の共通語を軸に、大人の感性を持ったリスナーをターゲットにする、21世紀の「グローバルミュージックステーション」を目指しています。

まず、広告業界におけるラジオのポジションについてお話しします。広告におけるマスコミ4媒体(新聞、雑誌、ラジオ、テレビ)の扱い高は年々減少傾向にあり、特にラジオ媒体は苦戦しています。その一方、インターネット関連分野での扱い高は大きく伸びており、この分野との連携を強く意識する必要があります。

そこで「RADIO-i」では、放送と通信を融合させ、ラジオとインターネットでの同時配信を行っています。「RADIO GAGA！TV」という番組を、ラジオのオンエアと同時にインターネットでも同時にLIVE配信し、地域に密着した番組作りということで、地元で活躍中のアーティストのライブや、地元的话题を紹介しています。番組では、インターネット配信での独自コンテンツの充実を図っており、映像配信の新たなビジネスモデルを模索しているところです。

次に、携帯でのダウンロードサイトの展開についてですが、地元のインディーズバンドに特化したラジオ番組と、それとの携帯サイトの連動を開始しました。

地元アーティストを応援することで、このサイトの認知度、ネームバリューを高め、新規ビジネスの開拓につなげていきたいと考えています。

第12回理事会

- I 会長挨拶 〈会 長〉
- II 議 題
 - 1. 6月のプログラム（案）について
 - 〈クラブ奉仕委員長〉
 - 〈プログラム委員長〉
 - 2. 夕食例会について 〈クラブ奉仕委員長〉
〈親睦活動委員長〉
 - 3. 「刈谷100景展8」協賛について 〈社会奉仕委員長〉
 - 4. 刈谷音楽協会会費について 〈社会奉仕委員長〉
 - 5. その他
- III 会場監督の所見